

地区まちづくり協議会の活動報告の内容

| 番号 | 内容 |
|----|--|
| | 地区まちづくり協議会名 |
| | 地区まちづくり協議会の認定日 |
| | 地区まちづくり計画の認定日 |
| | 地区まちづくり協議会の活動テーマ(認定申請書より) |
| | 今年度(H24.4.1～)の主な活動の内容について (会議やイベントなどの参加人数) |
| | 今年度活動をすすめられた中で、評価できることは どのようなことか。 (よかったこと、成功したこと) |
| | 今年度、活動をすすめられた中で、どういった課題や 問題があったか。それらを解決するためにどのように 取り組まれたか。もしくは、今後、どのように改善したいか。 |

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

平成24年度 地区まちづくり協議会活動報告

| 名称 | 協議会 認定日 | 計画 認定日 | 協議会の活動テーマ (認定申請書より) | 平成24年度活動内容 | よかったこと、 評価できること | 課題や問題の解決に向けての 取り組み、改善 |
|-------------------------|---------------|----------------|--|--|---|---|
| 1 白川区 まちづくり協議会 | H20年 6月26日 | 未 | 1) 白川地区の良好な景観形成を目指し、景観の保全と育成を検討する。 2) 白川地区の歴史文化の保全と継承及び観光振興のため、金色院跡などの文化財保護や整備を検討する。 3) 白川地区の交通問題の解決に向けて、道路等のあり方について検討する。 4) 白川地区の特産である茶業の振興に向けて検討する。 5) 白川地区の福祉の充実に向けて検討する。 | 4月 総会 【内 容】平成24年度の取り組みについて、話し合った。 8月に起きた豪雨災害の復旧に文教大学の学生の協力を得て、取り組んだ。 京都府宇治警察署に要望書を提出 【内 容】抜け道として利用しやすい市道白川浜山本線(府道大津南郷宇治線交差点～市道宇治白川線交差点)の交通安全対策に関する要望書を宇治署に提出。 3月 3日 文教大学 森ゼミ報告会 【内 容】学生が白川区について研究した結果を発表。協議会役員が参加した。 | 特になし | 8月の豪雨災害の影響で、協議会活動を中心に取り組むことができなかった。開催予定であった「白川金色院平安ロマンの夕」も中止となった。 頻繁に会議を行いたい、各々の都合により開催することが難しい。 |
| 2 南陵町地区 まちづくり協議会 | H20年 12月8日 | H23年 10月14日 | よい町を育ててゆくことを目的とし安心、安全、良好な住環境を守る為の活動。 | 4月 1日 南陵町地区まちづくり協議会の新役員補充のため公募を行った。(24年3月31日付で、5名が退会) 6月 1日 報告 【内 容】計画施行後の協定第9条工事に関する協定に基づき、現況の報告及び隣接地における宅地開発に関する協定内容を報告した。 8月 1日 活動(協議会委員12名) 【内 容】町内全域の住環境の点検を行い、その結果を役員会に報告して、景観の保全に努める活動を実施した。 8月 5日 協議会を開催 【内 容】計画と協議会規約の整合を図り、現状に則した運営が適正に実施可能な規約に改正するために、鋭意に検討を重ねた。 8月20日 活動(協議会委員5名) 【内 容】地域内の見回りをを行い、空家及び空地、駐車場の樹木や雑草の適正な管理と緊急事態発生時の連絡先を画面で開示していただけるようお願いした。 11月30日 活動 【内 容】管理者不明の空家の所有者及び連絡先の調査を自治会を通じて、連絡先の開示をお願いした。 3月 3日 協議会を開催 【内 容】計画運用後の現状や活動内容の報告、規約の改正(案)の承認、「良好な居住環境と景観」を継承していくために役割分担して活動を行っていくこと決定した。 3月31日 自治会総会 【内 容】協議会の1年間の主な活動報告を行った。 | 計画を遵守し、逸脱する住宅建設や土地分割が行われなかった。 計画の効果が感じられ、定着してきている。 空家及び空地の雑草と樹木の繁茂問題等への対応が機敏になった。 | 空家と空地の所有者もしくは連絡先を把握できていない。所有者もしくは連絡先が不明であることが、計画を推進していくうえで、障害となっている。 自治会の区長や班長であれば、連絡先を把握している可能性があるということから、目的と主旨を理解いただき、調査の協力をお願いした。その結果、数件の管理者の連絡先判明した。 |
| 3 南御蔵山地区 まちづくり協議会 | H21年 8月14日 | 未 | 本協議会は、緑ゆたかで閑静な住環境を維持し、住民の快適で安全な生活を守ることを目標としたまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進をはかることを目的とする。 | 4月 5日 まちづくり計画案を市に提出 5月20日 第1回協議会役員会開催(8名) 6月17日 第1回地区まちづくり協議会総会開催(25名) 【内 容】今年度の役員、活動方針などの決定 7月15日 第2回協議会役員会開催(8名) 8月19日 第3回協議会役員会開催(7名) 【内 容】計画案の修正開始 9月16日 第4回協議会役員会開催(6名) 【内 容】修正計画案へのアンケート準備開始 10月21日 第5回協議会役員会開催(4名) 11月18日 第6回協議会役員会開催(6名) 12月15日 第7回協議会役員会開催(10名、委任状を含む) 【内 容】アンケート調査票の原稿決定 1月20日 アンケート調査票配布 2月24日 第8回協議会役員会開催(8名) 3月17日 第9回協議会役員会開催(6名) 【内 容】アンケート回答提出締め切り、現在、集計中 | 自治会員のみならず、非自治会員も含めた全住民世帯を対象にアンケートを実施できた。 | 24年度の活動が、文章作成が中心となっていたので、一部の役員の中で「お任せ」傾向が生じ、会議への出席率が低下した。 会議開催の案内の際に議題の重要性を訴え、出席が不可の場合は、委任状を提出してもらうことで定数を満たした。 |

24年度のまちづくり活動支援制度の利用なし。

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

| 名称 | 協議会 認定日 | 計画 認定日 | 協議会の活動テーマ (認定申請書より) | 平成24年度活動内容 | よかったこと、 評価できること | 課題や問題の解決に向けての 取り組み、改善 |
|-------------------------|---------------|-----------|---|---|--|--|
| 4 宇治市北の玄閣 街づくり協議会 | H21年 9月25日 | 未 | 六地藏地区並びに木幡御 蔵山地域の一部の都市機能 と生活環境の向上をはか り、安全かつ快適で文化的 な街づくりを推進すること を目的とする。 | 5月10日 総会 6月25日 向日町激辛商店街視察(磯野会長) 7月12日 定例会議開催 9月 1日 六地藏札の辻マンション建築計画説明会出席 9月10日 京都銀行新店舗開店 9月13日 定例会議開催 11月 3日 六地藏ちびっこみこし祭り開催に参加協力(来場者約600人) 11月 8日 定例会議開催 12月28日 歳末防犯パトロール(雨天中止) 1月10日 定例会議開催 3月14日 定例会議開催 | 六地藏区民と協働で開催しているみこ し祭が今年で10年目であり、年々参加者が 増加している。 六地藏区域内での開発や建設工事の調 整(苦情などの処理)ができた。 | 道路交通問題の改善やサポート道路の 開通について進展しない。 改善に向けて、住民運動を起こす。 |
| 5 志津川地区まち づくり協議会 | H22年 2月8日 | 未 | 緑豊かな美しい自然を 生かしたまちづくり 生涯住み続けられる住 環境をつくるまちづくり 助け合って生きていけ るまちづくりを目標とした まちづくりを行うことを目 的とする。 | 別紙参照 | | |
| 6 明星町地区 まちづくり協議会 | H22年 6月11日 | 未 | 明星町地区の住環境を良 好に保ち、健康で安心でき る、安全で、住んでよかつ たと思えるまちづくりの実 現に向けて、その具体化と 推進を図ることを目的とす る。 | 4月29日 明星園でフリーマーケット 【内 容】 14店の出店があり、売り上げの一部を東日本大震災の義援金として寄付した。 6月 対策委員会の立ち上げ 【内 容】 京阪宇治バスの明星路線廃止問題で、自治会と対策委員会を立ち上げた。 7月 「建築工事施工にあつたてのお願い」申請書を作成 【内 容】 明星町の静かな住環境を守るため、新築工事に対して申請書を作成した。 8月 地藏盆 (50名) 【内 容】 集会場で、映画「此の岸のこと」を上映した。 11月 明星町秋まつり開催 【内 容】 初めて道路封鎖し、まちづくりメンバーや子ども会をはじめ、自治会の各分会、明星 園の協力のもと明星町秋まつりを開催した。フリーマーケットの売り上げを京都府南部地域集中豪 雨災害復興へ寄付した。 3月 最終総会 (24名) 【内 容】 年間報告とバス路線廃止問題、明星町自主防災組織の設立問題、まちづくりの在り方 について、討論した。 | 京阪宇治バスの明星路線廃止問題で、1 年間の暫定存続が決定した。これからは、 利用販促運動を行っていく。 明星町秋まつりで、多彩なイベントで 盛り上がることできた。 | 住民参加のイベントで、人集めが大変 である。 今後、様々な企画を組み合わせ、参 加してもらいたい。 |

24年度のまちづくり活動支援制度の利用なし。

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

| 名称 | 協議会 認定日 | 計画 認定日 | 協議会の活動テーマ (認定申請書より) | 平成24年度活動内容 | よかったこと、 評価できること | 課題や問題の解決に向けての 取り組み、改善 |
|------------------------|--------------|-----------|--|--|---|---|
| 5 志津川地区 まちづくり協議会 | H22年 2月8日 | 未 | <p>緑豊かな美しい自然を生かしたまちづくり</p> <p>生涯住み続けられる住環境をつくるまちづくり</p> <p>助け合って生きていけるまちづくりを目標としたまちづくりを行うことを目的とする。</p> | <p>5月19日 第2回総会 【内 容】 協議会の取り組み経過報告について 今後の取り組みについて その他</p> <p>6月23日 第25回協議会 防護柵設置作業・出入口補強作業 (21名)</p> <p>6月24日 第26回協議会 里山再生・まつたけ技術講習会・宇治田原 (6名)</p> <p>7月12日 サル被害発の被害状況調査 (6名)</p> <p>7月21日 第27回協議会役員会 【内 容】 サル被害対策及び今年度柵設置市報告数について報告</p> <p>8月14日 豪雨災害発生</p> <p>8月15日 パトロール実施 【内 容】 区内で不審者の目撃情報があり、協力要請があった。</p> <p>8月18日 捜索活動 (午前:39名、午後:16名)</p> <p>8月25日 水路土砂撤去作業 (60名)</p> <p>9月 1日 第28回協議会 小水力発電学習会・龍谷大学 (2名)</p> <p>9月 6日 市議会豪雨対策協議会の現地視察 【内 容】 市議会議員15名が現地視察を行い、会長他7名が参加。</p> <p>9月15日 区内豪雨災害調査 【内 容】 国土問題調査団23名が調査に来られた。</p> <p>10月22日 814災害志津川上流域調査 (会長他7名)</p> <p>10月27日 8月豪雨災害を考えるつどい (103名)</p> <p>10月28日 向山亀裂箇所シート張り (11名)</p> <p>10月29日 8月豪雨防護柵被害箇所調査 (副会長他4名) 【内 容】 向山亀裂箇所対策として、委員の知人(工務店勤務者)に山の状態を調査いただき、山を生き返らせる対策が必要だとしてご指導いただいた。</p> <p>11月 8日 下の町裏山814災害地調査 (副会長他3名)</p> <p>11月10日 第29回まち協役員会 【内 容】 防護柵設置、園芸広場新規事業などを協議。</p> <p>11月20日 防護柵搬入受け入れ</p> <p>11月24・25日 防護柵設置作業 (24日:38名 25日:33名)</p> <p>12月1・2日 「福祉の園」陶器まつり (もちつきや飲物販売などで参加)</p> <p>12月7～9日 第30回まちづくり協議会:京都府総合見本市会館 (6名) 【内 容】 京都環境フェスティバルに参加し、8月豪雨災害の状況写真と区民の要望をパネル展示した。</p> <p>1月10日 スーパーサッチャー(=土砂崩れ検知装置)を宇治市が設置 (4名)</p> <p>1月12日 近隣にある会社との協定継続で現地視察 (12名) 【内 容】 区と協議会で実施。その後、第31回協議会役員会を実施し、防護柵設置作業及び災害記録集などについて協議。</p> <p>1月13・20日 向山亀裂箇所間伐採作業 協議会有志で参加</p> <p>2月 8日 送電線下の樹木伐採問題で関西電力と現地立会い (副会長他3名) 【内 容】 開催電力2名と市職員3名立会いのもと、川内の樹木引き上げ周辺整理を約束した。</p> <p>2月10日 第32回協議会:京都嵐山 (副会長他5名) 【内 容】 文化講演会に参加。</p> <p>2月26日 防護柵追加分搬入受け入れ (副会長他3名)</p> <p>3月 2日 防護柵設置作業 (27名)</p> | <p>8月の豪雨災害において、まちづくり協議会が中心となって、復旧へ隣近所が助け合う自主的な取り組みが展開された。</p> <p>このような状況をつくることができたのは、協議会のこれまでの地道で粘り強い取り組みがあったから、力を発揮することができたと評価できる。</p> | <p>8月の豪雨災害により、これまでの活動に加えて「災害に強いまちづくり」など、新たな視点がクローズアップされてきた。</p> <p>災害復旧への取り組みが中心になる中で、役員会議の開催が十分にできなかった。</p> <p>災害復旧の課題が最優先される中で、 ・「小水力発電」 ・「環境フェスティバル」 ・「桂川の鮎の味文化講演会」 への参加など常に会員の視野を広げる取り組みも行った。</p> <p>課題や問題点を協議会員及び区民が共有できるように、協議会ニュースの発行を絶やさなかった。(9回発行)</p> |